

先生方の疑問や不安が安心に変わります

これからの課題

に対応した教科書の工夫

Q1 **小中連携**のために、
どのような対応がされていますか？



A 小学校での既習事項がわかるよう、
巻末では語彙と文法に  マークを付けました。

Word List (語彙)

Word List		
- この教科書で出てきた語や連語とその意味を一覧にしています。 - マークは、小学校で習った語を示しています。 - 数字は、その意味がこの教科書で初めて出るページを示しています。 - 太字の語は特に重要な、3年生までに使えるようにしたい語です。		
A / a		品詞など
a [ə/éi]	ある、1つ[人・匹など]	25
about [əbaút]	～について(の)、～に関して	33
abroad [əbrɔ:d]	外国に[へで]、海外に[へで]	とじ込み6
active [æktiv]	活発な、元氣な	86
activity [æktivəti]	活動、運動	38
actor [æktə]	(女性も含め一般的に)俳優	67
after [æftə]	①(順序)～の次に、～の後に[で] ②(時間)～の後に[で]	44 68
after school	→ school	81
afternoon [æftərnún]	午後	79
age [éids]	年齢	117
album [ælbəm]	アルバム	120
all [ɔ:l]	まったく、すっかり	60
all over the world	→ world	60
	(主語・目的語の同格に用いて)	
	どれも	56
	Anything else? → else	56
apple [æpl]	リンゴ	18
April [éiprəl]	4月	15
aquarium [ækwəriəm]	水族館	55
are [ár/ə]	～である、～になる、(～に)ある、(～に)いる	6
aren't [árent]	are not の短縮形	58
Argentina [árdʒəntína]	アルゼンチン	57
around [əráund]	向きを変えて、ぐるりと turn ~ around → turn	99
art [á:t]	美術、芸術	39
artist [á:tist]	芸術家	67
as [æz/əz]	～として	150
ask [æsk]	(人)にたずねる、質問する	66
astronaut [ástrənɔ:t]	宇宙飛行士	67
astronomy [ástrənəmí]	天文学	147
at [æt/ət]	①(優劣などを表す言葉とともに)～の点で、～において、～に関して ②(地点・場所)～に[で]	61 61

1年 p. 158 Word List

基本文のまとめ (文法)

Unit 5-2	☒ Watch your step.  ☒ Don't use the phone. ☒ Let's go to the classroom. 
Unit 5-3	☒ When's the school open day? —On Saturday, October 29.  ☒ When do you have drama club? —After clean-up time.
DL 2	☒ Whose pencil case is that?

1年 p. 173 基本文のまとめ

・小学校の既習事項を早期段階で
再び扱うように設計

小中連携に関する詳しい内容は、
内容解説資料「**小中連携ガイド**」を
ご覧ください！



A 1年巻頭の小中接続期教材は、小学校の学びをふり返り、生徒ができることを確かめられる内容にしました。

Let's Be Friends!



1年 pp. 10-11 Let's Be Friends! 3 「世界のどこかへ行ってみよう」

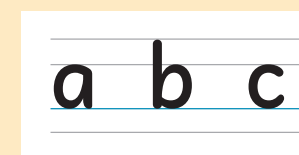
- ・接続期の7つの活動は、全て小学校での学習事項(語句と表現)でできる
- ・「聞く」から始めて「話す」, 「書く」へ

光村図書の小学校英語教科書の
キャラクターも登場します！



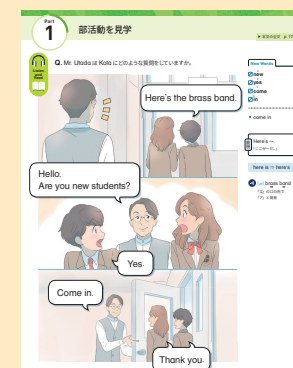
A 1年 Unit 3までを、
文字を読む準備期間とし、
負担を少なくしました。

・小中接続期教材では、
小学校と同様の
手書きフォント*を使用



小文字の識別のしやすさに
配慮し、基線と2線目の間隔が
広い4線を採用しています。

・Unit 1～3の本文を
マンガのような
レイアウトに



1年 p. 40 Unit 2 Part 1

- *手書きフォントについて
- ・光村図書が独自に開発した、「書くときのモデル」となるフォントです。
- ・4線の幅は、文部科学省移行期教材 We Can! や、光村図書の小学校英語教科書と同様です。
- ・フォント及び4線のデータは、「指導書セット」に収録しています。

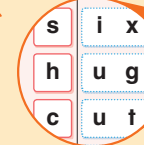
A 帯活動で発音とつづりの
ルールを学ぶ教材を
1年の巻頭に用意しました。

Sounds and Letters



1年 pp. 20-21 Sounds and Letters

折って発見！



Q2 語彙数の増加に、 どのように対応していますか？



A 受容語彙と発信語彙を区別して示し、 語彙の指導に軽重をつけられるようにしました。

「発信語彙（特に重要な、3年生までに使えるようにしたい語）を中心に指導し、受容語彙（読んだり聞いたりしたときに意味がわかる語）については、つづりを書けるまでの指導はしなくてよい」という考えのもと、発信語彙は太字、受容語彙は細字で示しました。

New Words

☒ later
☒ clean-up
☒ time
☒ clean
☒ day
☒ sweep
☒ wipe

細字の語は
意味がわかれば
OK！

発信語彙（使えるようにしたい語）
選定にあたっての考え方

発信語彙（特に重要な、3年生までに使えるようにしたい語）の選定にあたっては、複数のコーパスやCEFR-Jの語彙リスト、小学校英語の語彙リスト、過去の検定教科書掲載語などを基にした独自のコーパスを作成し、その中の上位1100語程度を発信語彙として選定しました。

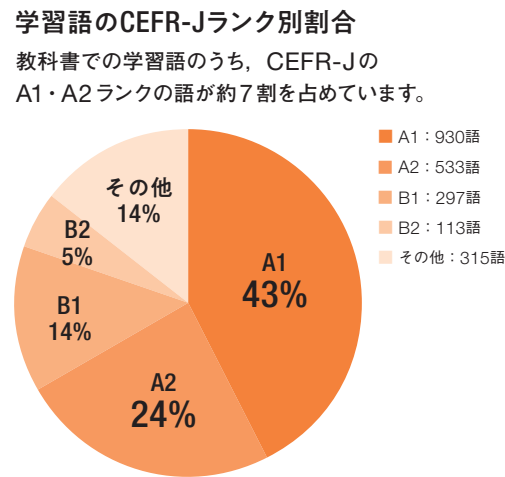
小学校での学習語も
9割以上をカバーし、
くり返し学習できるように
なっています。

Here We Go! ENGLISH COURSE 語彙データ

	学習語		学習語のうち太字の語	
	中学校初出語	小学校学習語*	中学校初出語	小学校学習語
1年	467語	493語	280語	392語
2年	544語	61語	235語	43語
3年	603語	20語	134語	9語
計	1614語	574語	649語	444語
小中合計	2188語		1093語	

*小学校学習語について
・光村図書の小学校英語教科書で学習した語のうち614語を「小学校学習語」と定めました。このうち中学校教科書では574語を掲載しました。
・小学校学習語も、(読み・書きを十分に扱い定着を目指すものではないため) 本教科書ではNew Words欄に示し、改めて学習することを促します。

上記に加え、付録の読み物教材などで、さらに100語程度の語彙にふれることができます。



A くり返し、使いながら学ぶことで、 語彙を習得・活用できるよう設計しました。

Word Board

やり取り・発表などの言語活動に応じて、その場面で必要な語を示し、活用しながら学ぶことができるようにしています。

1年 p. 51 Unit 3 Part 1

Word Board
 ・play the guitar
 ・surf the Internet
 ・walk my dog

Tina たちが週末の過ごし方をたずね合っています。
 1. それぞれの人物と答えを、線で結びましょう。
 2. 3人ですることになったものに、✓を付けましょう。

(1) Eri (2) Kota

go to the library go to the park go fishing watch videos

About You ペアになり、週末にすることをたずね合いましょう。▶ Active Words p. 149

Word Board
 play the guitar
 surf the Internet
 walk my dog

[例] What do you do on weekends?
 I usually run in the park. How about you?
 I usually stay home.
 I sometimes play igo with my grandfather.

▶ Active Words p. 149

Active Words

生徒自身のことを話したり書いたりする活動に役立つ身近な語彙を、カテゴリごとに整理しました。同じページを何度も開いてくり返し触れたり使ったりするうちに、豊かな語彙が身につきます。

1年 p. 149 Active Words

Weekends and Vacations

go shopping
buy stationery
see a movie
chat with friends

take a walk
walk my dog
run in the park
go to the library
eat out
sing karaoke

【Outdoors 外で、週末に】
 go jogging
go to a concert
go to my friend's house
have club activities
skateboard
swim in a pool
watch a soccer game

【Where do you go? どこに行く?】
 amusement park
aquarium
bookstore
cafe
convenience store
department store
gym

hospital
market
museum
restaurant
shopping mall
supermarket
stadium
zoo

どの場面で使用するかを、Unit内・Active Words 双方のページで提示しています。

A ビジュアルを活用した解説で、 効果的に語彙力を高められるようにしました。

英語のしくみ

語彙の基本イメージを捉えたり、知っている語と関連づけたりして、語彙の意味を推測する力を高める巻末付録教材です。

1-1 基本動詞のイメージと広がり

have や make などのよく使う基本的な動詞の、中心的なイメージから意味や使い方の広がりを捉えてみましょう。

1 have 所有している

2 make 作り出す

3 take 手に取る

4 get 得る

4-1 英単語の成り立ち

つづりが長い英単語は、基本となる語に頭(接頭辞)や尻尾(接尾辞)が付け加えられて、1つの単語になっている場合があります。

頭

体

尻尾

接頭辞
主に意味を加える

基本となる語
中心的な意味を表す

接尾辞
主に品詞を決める

[例] unusually
 = un- (否定) + usual (いつもの) + -ly (形容詞化)
 = 「いつもとは違って」→「普通ではなく、珍しく」

頭(接頭辞) un + fair (否定)「公平な」 → unfair 「不公平な」
 un-

尻尾(接尾辞) teach + er (教える) (人) → teacher 「教師」
 -er

28

Here We Go! ENGLISH COURSE 編集の趣旨と特色 29

Q3 高校入試

や外部試験に求められる力は、
どのように育成できますか？



A 読む機会と読む量が段階的に増えていく設計により「量に負けない」生徒が育つようにしました。

読む教材一覧

学年	単 元	語数
1年	Unit 5 Goal (案内状)	61
	Unit 6 Goal (紹介文)	52
	Unit 7 Goal (はがき)	70
	Daily Life 4 (ウェブサイト)	85
	Let's Read 1 (説明文)	52
	Let's Read 2 (物語)	112
	Let's Read More (レポート)	155



2年以降は Let's Read に限らず Unit の Goal や小单元にも読む教材を増やし、まとまった文章を読む練習の回数を確保します。

多様なテキストタイプが読み、外部試験への対応力がUP!

学年	単 元	語数
2年	Unit 1 Goal (日記)	113
	Unit 3 Goal (メール)	76
	Unit 4 Goal (ガイドブック)	147
	Unit 6 Goal (レポート)	89
	Unit 7 Goal (記事)	105
	Unit 8 Goal (記事)	117
	Daily Life 5 (お知らせ)	78
	Daily Life 7 (観光案内)	201
	World Tour 2 (紹介文)	218
	Let's Read 1 (物語)	396
3年	Let's Read 2 (インタビュー)	394
	Let's Read 3 (説明文)	357
	Let's Read More 1 (ガイド)	163
	Let's Read More 2 (説明文)	214

357 words

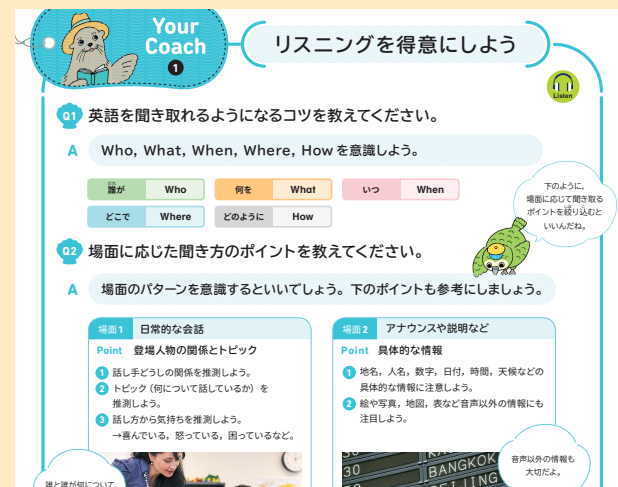
読む教材全ての文末に Word 数を記しています。高校入試や高校英語への接続の目安になります。

357 words

A 高校入試からその先の学びにまで役立つ領域別のコツを示し、自律的学習者を育成できるようにしました。

Your Coach (聞く)

学力テストや外部試験などでよく出る場面のパターンを取り上げ、場面や目的を意識して聞くコツを紹介しています。具体的な教材と合わせて扱うことで、まとまった分量の英語を聞き取る力が身につきます。



2年 p. 45 Your Coach 1

Your Coach (書く)

3年では、まとまった分量の英文を書くためのコツとして、パラグラフ構成の型などを示しています。表現活動のたびに確認して、同じパターンをくり返し練習をすることで、少しずつ書く力が身につきます。



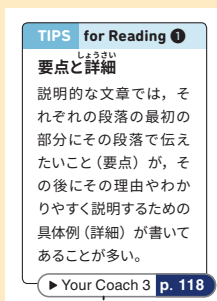
3年 p. 88 Your Coach 2

A 聞いたり読んだりした話題についての感想や意見を、話したり書いたりする活動を設定しました。

3年では、複数の文章を読み比べ、自分の意見を表現する活動を重点的に扱います。増加傾向にある「論理的思考力」に基づいたアウトプットが求められる問題に対応できる力を育てます。

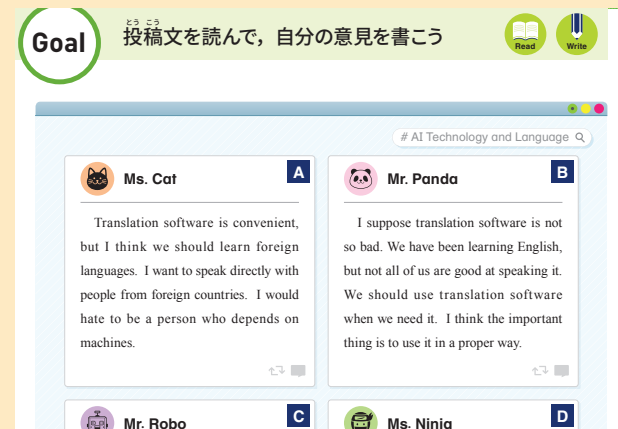
TIPS for Reading

Let's Readを中心に、教材に合わせたTIPS for Readingと、これを活用して取り組む課題を設定。量に負けず、目的に応じた読み方ができるようになります。

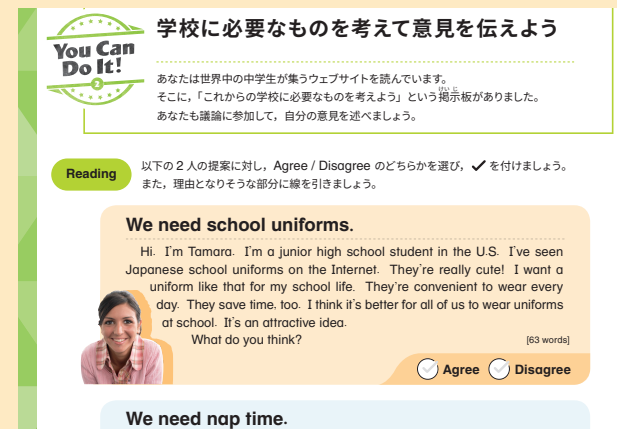


2年 p. 120 Let's Read 3

学年	TIPS for Reading
1年	見出し
	出来事の種類
2年	出来事の種類
	いちばん伝えたいこと
	要点と詳細
	図表やグラフ
3年	事実と感想
	段落の要点を捉える
	推測しながら読む
	繰り返しの言葉



3年 p. 58 Unit 4 Goal



3年 p. 86 You Can Do It! 2

Q4 新しい評価について、 どのようなサポートがありますか？



A 授業の中で3つの観点の評価ができるよう、
指導書などで、先生方をサポートします。

・「指導と評価の一体化」を可能にする
年間指導計画や、単元の指導案を用意

観点	評価基準	L	R	SE	SP	W
知識・技能	一般動詞の過去形を使った肯定文、疑問文、否定文やbe動詞の過去形について正確に理解している。	○	○	○		○
	一般動詞やbe動詞の過去形を使った話や会話から、したことや感想を正確に聞き取ることができる。	○				
	一般動詞やbe動詞の過去形を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。		○			
	一般動詞やbe動詞の過去形を使って、したことや感想を正確に伝え合うことができる。			○		
	一般動詞やbe動詞の過去形を使って、したことや感想を正確に書くことができる。					○
思考・判断・表現	登場人物が冬休みにしたことを知るために、はがきから出来事や感想などを読み取るとともに、はがきの書き方を理解している。		▲			
	ALTに冬休みの出来事を伝えるために、冬休みにしたことや感想をはがきに書いている。					▲
主体的に学習に取り組む態度	登場人物が冬休みにしたことを知るために、はがきから出来事や感想を読み取るとともに、はがきの書き方を理解しようとしている。		■			
	冬休みの出来事の楽しさが伝わるように、出来事や感想をはがきに書こうとしている。					■

年間指導計画例

単元の目標に対する、3つの
観点の評価基準を明示。

・各単元の目標に応じた評価や、
学期末の評価に役立つテストの問題例を収録

Unit 5

Speaking Test

(ALTにインタビュー)

This is Our School

Date Class No. Name

ALTの先生に、学校の説明に入りの質問についてインタビューしましょう。

1. 先生に次のことをたずねて、答えたことをメモしましょう。
まず、質問と自分の名前を覚えておいて、インタビュー開始してください。

質問	メモ
① お気に入りの場所	
② 何をするか	
③ いつ利用するか	
④ どこにあるか	
⑤ (自分で考えて)	

2. 例のようにメモしたことを読んで、先生が言ったことを確かめましょう。



Your favorite place is the gym.
You play basketball there....

自己評価表

適切な英語を用いて、5つの質問をすることができた。

D C B A

適切に評価するための
ルーブリックの
例も指導書に用意。

パフォーマンステストの問題例

Here We Go! ENGLISH COURSE 基本データ

週4時間(年間140時間)の授業に対応した、適切なUnit数や語彙数を設定しました。

		1年	2年	3年	合計
ページ数		176	176	176	528
Unit数		8	8	8	24
新出語数	全体の語数	467	544	603	1614
	太字の語数	280	235	134	649
配当時間の目安	主教材	Let's Be Friends!	7	-	7
		Unit	70	72	209
		You Can Do It!	6	6	18
	小教材	Daily Life	5	8	17
		World Tour	2	3	7
		Let's Read	3	10	25
		Active Grammar	7	9	20
	合計時数	100	108	95	303
教科書連動コンテンツ(QRコンテンツ)の数		191	142	135	468

編集上の配慮

特別支援教育への配慮

特別支援を必要とする生徒に、できる限りの配慮をし、全ての生徒にとって使いやすい教科書を目指しました。特別支援教育の観点から、全ページにわたり、専門家の指導・校閲を受けています。

●他と判別しやすくする工夫

基本文

好きな活動をやったり、たずねたりする。

I like music.
▶ I like dancing.
▶ Do you like dancing?

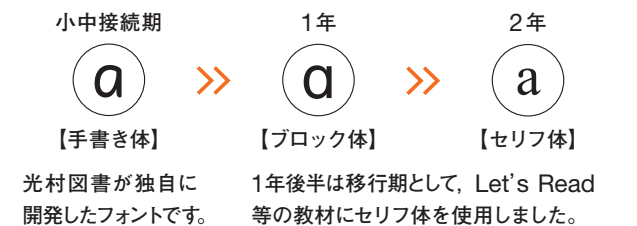
動詞の-ing形
動詞の語尾を-ingの形にすると、「～する」という名詞と同じような働きで使うことができます。
play dancing
dance dancing
run running

「基本文」など学習上重要な箇所は、太い線ではっきり囲んで、他の情報と区別できるようにしました。

書体の選定における配慮

●発達段階に合わせた英語の書体を使用

1年で、小学校英語教科書で使っている手書き文字に近い書体からブロック体につなげます。また、1年後半から2年をセリフ体への移行期と位置づけ、外部試験等で使われるセリフ体に少しずつ慣れることができるようにしました。



●日本語の読みやすさへの配慮

ふきだし内などの小さい文字には、読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン(UD)書体を使用しています。



色覚の多様性への配慮

色覚特性のある生徒が、色を識別できないことが理由で学習に支障をきたすことがないように、全ページにわたり、カラーユニバーサルデザインの専門家の指導・校閲を受けています。

●色に頼らず、形でも認識できるように

I play the trumpet.

Do you play the piano?

— Yes, I do. / No, I do not.

主語と動詞を色だけでなく形でも識別できるようにしました。

人権上の配慮

人権教育に配慮した教材の選定や学習活動を行うために、次のような点に配慮しました。

- ・取り上げる題材や登場人物などについて、性別や身体的特徴、年齢、人種、国、地域などに極端な偏りがないう配慮しました。
- ・旧来の固定的イメージにつながるような表現をできるだけ避け、家事をする男性や働く女性の姿などを取り上げました。

